

MAENAN SAH Journal Vol.18

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～ Oct. 26th, 2023

★『三つの方針（スクールポリシー）』って聞いたことがありますか？★

大学においては、平成28年3月31日に『学校教育法施行規則』が改正され、『卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）』、『教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）』、及び『入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）』の策定及び公表が義務化されました（平成29年4月1日施行）。よって大学のパンフレットにはこれらの記載がありますので、目にしたことがある方もいることでしょう。

高等学校においては、令和3年3月31日に『学校教育法施行規則』の一部が改正され、下にあげる『三つの方針（スクール・ポリシー）』の策定及び公表が義務化されました（令和4年4月1日施行、令和6年度末までは経過措置）。

GP グラデュエーション・ポリシー（卒業するまでにこのような力を身に付けられる学校です）

CP カリキュラム・ポリシー（このような学びの場を提供する学校です）

AP アドミッション・ポリシー（このような皆さんを待っている学校です）

群馬県教育委員会では、県立高等学校及び中等教育学校の存在意義や期待されている社会的役割、目指すべき学校像について、令和5年3月に『群馬県立高等学校のスクール・ミッション』として策定し、公表しています。それに伴い、この『スクール・ミッション』に基づき、入学者選抜から卒業までの教育活動を一貫した体系的なものに再構成するとともに、教育活動の継続性を担保するため、各校における『三つの方針（スクール・ポリシー）』を今年度中に策定するよう求めています。本校でも令和5年4月より、本校の『三つの方針（スクール・ポリシー）』の策定を目指し、議論を深めてきました。

群馬県立高等学校のスクール・ミッション

～群馬ならではの特色ある学びの中で、たくましく生きる力を育成する魅力ある高等学校づくり～

共通ミッション 「たくましく生きる力の育成」



本校ではすでに令和2年に『グランドデザイン』を完成しています。また、令和5年4月に群馬県教育委員会より『スチューデントエージェンシーハイスクール』に指定され、『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』を目指して参りました。当然ながら、本校の『三つの方針（スクール・ポリシー）』も『グランドデザイン』と『SAH』の両者に沿ったものを目指しております。

また、『三つの方針』のすべては完成していませんが、『グラデュエーション・ポリシー』の案がまとまりましたので、発表させていただきます！

“Graduation”というからには『卒業』という意味が含まれます。すなわち、『生徒の卒業後の姿』を見据えて、『生徒が、卒業するまでにこのような力を身に付けられる学校』という視点で作成しています。従来でしたら『学校』が主語になり、『〇〇な教育を目指します』となりがちでしたが、『生徒が』と『生徒』を主語にし、『本校の教育活動』を通じて『生徒がどのような資質・能力を身につけるのか』ということを決める基本的な方針となっています。

★前橋南高等学校の『GP グラデュエーション・ポリシー（案）』★

①自ら考え、判断し、行動する力が身につきます。 ～もう誰のせいにもしない！～

②目標を明確にし、ねばり強く挑戦する力が身につきます。 ～困難に負けない自分になる！～

③基礎を大切に、深い学びができる力が身につきます。 ～「教わる」から「学ぶ」へ！～

本校の『グラデュエーション・ポリシー』には、あえて『サブタイトル』的な『フレーズ』をつけました。①の『～もう誰のせいにもしない！～』というフレーズを見た人から『では、いままでは誰かのせいにしてたの？』とツッコミを入れられそうですが、あえて『トゲ』のあるものにしました。『国が悪い』『社会が悪い』『学校が悪い』『だれかが悪い』ではなく、生徒が『当事者意識』を持ち、『自ら考え、判断し、行動する』ことを目指して欲しい、『生徒たちに、こうつぶやきながら行動して欲しい』という願いを込めました。

②『～困難に負けない自分になる！～』も同様です。前号でも取り上げましたが、『失敗』は誰にでもあるのです。『うまくいなくて当たり前』なのです。ですから、『ねばり強く挑戦』して欲しい、『たくましく生きて』欲しいという願いを込めました。③『～「教わる」から「学ぶ」へ！～』には、生徒には『受動的』ではなく『能動的』な学びを目指して欲しいと思います。『自分の興味関心のあること』『自分のチカラを発揮できること』『自分が生きがい・やりがいを感じる』ことへ『深い学び』ができることを目指して欲しいと思います。今後、『CP』『AP』が決まりましたらまたお知らせします！今回の『GP』は、まだ『案』としています。『CP』『AP』が決定した段階で『完成』となる予定です！みなさまからの意見もお聞かせください！ 文責：星野 亨（教頭）

★校長より★ Vol.16で大谷さんのお話が紹介されました。私はあの記事を読んで、元プロバスケットボール選手のマイケル・ジョーダンさんの「私はキャリアを通して9,000回以上シュートを外し、300試合に敗れ、決勝シュートを任されて26回も外している。人生で何度も何度も失敗したからこそ、今の成功があるんです。」という言葉が思い出されました。そういえば「私、失敗しないので」の台詞でおなじみのドクターX（大門未知子）も、そこに至るまでの数々の修羅場を乗り越えて、たたき上げのスキルで勝負しています。私を含めて皆さんに聞きますが、皆さんは失敗しないようにという周囲の力に守られていることを感じませんか。少しでも良いですからそこから抜け出し、多くの失敗を経験していこうと思う生徒が増えると良いな。 校長 関根 正弘